

令和4年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、自然体験指導者（NEALリーダー）を養成することにより、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を育成する。

2. 事業の概要

(1) 期日

前期：令和4年5月14日（土）～5月15日（日）1泊2日

後期：令和4年6月4日（土）～6月5日（日）1泊2日

(2) 参加者

① 募集対象・人数

自然体験活動の指導者になりたい、あるいは興味・関心のある方 20人程度

② 参加人数

前期26人（大学生17人、社会人9人）

後期41人（大学生32人、社会人9人）

(3) 講師等

前期：1日目

講習①「自然体験活動の技術 その1」

講師：延原 正章（国立吉備青少年自然の家 主任企画指導専門職）

前期：2日目

講習②「自然体験活動の安全管理」

講師：井上 桂 氏（下関市深坂自然の森 森の家下関 所長）

講習③「青少年教育における体験活動」

講師：土田 豊 氏（中国短期大学 保育学科 教授）

後期：1日目

講習④「自然体験活動の特質」

講師：西村 典芳 氏（流通科学大学 人間社会学部 観光学科 教授）

講習⑤「対象者理解」

講師：石川 順雄 氏（尾道市立栗原小学校 校長）

後期：2日目

講習⑥「自然体験活動の指導」

講師：蓬田 高正 氏（天理大学 体育学部 体育学科 准教授）

講習⑦「自然体験活動の技術 その2」

講師：延原 正章（国立吉備青少年自然の家 主任企画指導専門職）

(4) 企画・運営のポイント

- ① 前期日程をボランティア養成研修と合同で実施することで、両方の資格を取れるようにした。
- ② 6つの大学で直接広報を行い、野外活動での安全管理や指導法について学びつつ、永年資格が取れることを広く周知した。
- ③ 募集人数に対して例年より多くの応募があったため、宿泊部屋を2倍に増やしたり、野外での活動を増やしたりするなどの新型コロナウイルスの感染対策を行い、希望者全員に受講していただくこととした。
- ④ 修了試験後のガイダンスで、NEALリーダー資格取得後に関する情報提供を行った。〔当所事業の案内や上位資格（インストラクター）の取得に向けての講習会情報や履修方法等〕

3. 活動の内容等

(1) 日程

① 前期

5月14日（土）		5月15日（日）	
12:30	受付	6:15	起床・洗面・清掃
13:00	ガイダンス	7:30	朝食
13:45	アイスブレイク	9:00	講習②「自然体験活動の安全管理」
14:30	講習①「自然体験活動の技術その1」	12:00	昼食
19:00	入浴	13:00	講習③「青少年教育における体験活動」
20:30	情報交換会	14:30	解散
22:00	就寝		

② 後期

6月4日（土）		6月5日（日）	
13:00	受付	6:15	起床・洗面・清掃
13:30	ガイダンス	7:30	朝食
14:00	講習④「自然体験活動の特質」	9:00	講習⑥「自然体験活動の指導」
17:30	夕食	10:30	講習⑦「自然体験活動の技術その2」
18:30	講習⑤「対象者理解」	12:30	昼食
20:00	入浴	13:30	講習のまとめ
21:00	情報交換会	14:00	修了試験
22:00	就寝	14:30	ガイダンス
		15:00	解散

(2) 活動の状況

① 前期



【自然体験活動の技術】



【自然体験活動の技術】



【自然体験活動の安全管理】



【青少年教育における体験活動】

② 後期



【自然体験活動の特質】



【対象者理解】



4. 成果・課題

(1) 満足度

前期 満足：77% やや満足：20% やや不満：3%

後期 満足：95% やや満足：5%

(2) 参加者の声

- ① 指導者として必要な能力を学べて良かった。
- ② ワークの中で、自分にはない考えの発見があって楽しかった。
- ③ どのような指導者になりたいかぼんやりとしか持っていなかったため、言葉にしようとするとても難しかったが、自分に足りていないことがはっきり分かった。

(3) 成果

- ① 周辺の青少年教育関係団体への周知や大学への直接広報を多数実施し、募集期間を長く設定したことで、例年より多くの参加人数となった。
- ② 指導者として必要な知識や技能について、大学生から現役の社会教育指導者まで多岐にわたる人たちと意見交換をすることができ、さまざまな体験を通して自然体験活動に関する理解を深められた。
- ③ 全参加者がNEALリーダーの修了試験に合格することができた。

(4) 今後の課題

NEAL 後期の受講時に、ボランティアとしても活動したいとの意見が複数あった。吉備の受講形態上、NEAL のみを受講している人は「ボランティア養成研修」の単位が4.5時間分足りないため、登録することができない。所内で検討し、今年度は6月19日(土)に補講を実施して8名の追加登録としたが、来年度に向けて調整が必要である。

担当：企画指導専門職付 西川 和志